

1. 各項目の特徴点、考察(現段階)

- Q 1. 防犯体制の強化は住民の関心が高い一方で、住宅侵入や空き巣、自動車盗難、車上狙い等の犯罪件数が非常に多くなっています。
安全、安心なまちづくりの実現に向け、取り組むべき対策を3点選択してください。

※防犯体制の強化については、「防犯灯の設置拡大」25.5%、「近所とのコミュニケーションを増やす」18.9%、「犯罪、不審者に関する情報提供回数を増やす」16.3%が過半数を占める。

- Q 2. ピーチライナー廃止後の駅ならびに高架橋の利活用について、最もよいと考える方法を2点選択してください。

※ピーチライナー廃止後は、「JR高蔵寺まで延伸し鉄道を復活させる」29.0%、「名鉄小牧線に直接乗り入れできるようにして鉄道を復活させる」18.3%、「太陽光発電パネルを設置し発電施設にする」17.5%が過半数を占め、取り壊す、そのまま維持するを上回り、新たな方法での活用を望む声が多かった。

- Q 3. 愛知県の交通事故死者数は再び全国ワースト1位と、大変憂慮すべき状況にあります。交通死亡事故の抑制に向け、何が効果的な対策だと考えますか。2点選択してください。

※交通死亡事故の抑制に向けては、「自動車、自転車の運転マナーの向上対策」24.5%、「違反者に対する取り締まりの強化」19.7%、「信号機や横断歩道、標識など交通安全施設の充実」18.8%、「自動車専用通行ラインの増設」17.7%の声が、多かった。

2. 地協の政策要望への反映課題

第5回幹事会(6/25)に最終報告(冊子作成)として報告し、意見をいただく。7月に議員懇談会(日程未定)を開催して、次の地協独自要望に生かしていく。

3. 連合愛知の要望書、行政への要請取り組みとしたい項目 (地協独自では達成が困難な項目など)

現段階では、なし。

4. その他(統一項目や他地協のアンケートと比較して気づいた点など)

特になし。